

総科ホームページの裏側



広島大学総合科学部のホームページは、事務的な内容に止まることなく、私たちの学生生活に身近なコンテンツが掲載されています。リニューアルしてさらに使いやすくなつたホームページの便利な活用方法をいくつか紹介したいと思います。

教員検索

「学部紹介 教員紹介 担当プログラム別」

先生方のメールアドレスやオフィスアワーが一目でわかるようになっていきます。また先生方の中にはご自身のホームページを持っていらっしゃる方もいて、自分の興味のある分野、または専攻している先生のホームページを見てみると、新しい見方を持つことが出来て面白いかもしれません。

さらに「リンク 教員のおすすめリンク」を選ぶと、各プログラムに関連したホームページにアクセスできます。

オリキャン報告

「在校生向け情報 オリキャン」

4月29日、30日にかけて山口県ふれあいパークで行われた、オリエンテーションキャンプの様子をみる事ができます。写真が多数掲載されており、オリキャンの楽しそうな雰囲気が伝わってきます。在校生の人は自分が写っているかもしれませんね。このオリキャン報告は来年まで掲載されているので、いつでも見ることが出来ます。

飛翔のバックナンバー検索

「データベース 飛翔」

この総科ホームページでは飛翔のバックナンバーを閲覧することが出来ます。過去の記事を見たい、けれど手元がないという時に家でいつでも見ることが出来ます。

さらに、総科ホームページでは第一号（1974年）から掲載されているので、昔の総科はどんな感じだったのかを知ることが出来ます。写真からは当時を思わせるようなレトロ感がにじみ出ています。

ここに紹介したのはほんの一部ですが、他にも、遺失物情報や岡本賞の紹介、シラバスをパソコン上で見られるなど、学生生活を円滑にするようなサイトとなっています。

総科ホームページは広島大学のホームページからもジャンプして行くことができますが、直接次のアドレスを入力することで閲覧することができます。ホームページに関する疑問点があったら、メール等で気軽に質問することができます。総科ホームページをうまく活用していきましょう！

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/souka/index.htm>

ここが総科ホームページのURLです。気軽に訪れてみてくださいね。



総合科学部のホームページ（HP）を担当されている、社会科学研究科の筒井友弥さんに取材しました。

Why?

HPの担当をする理由

前任の社会科学研究科の先輩から引き継ぎました。総合科学部のHP自体は、前任者の方よりも前にすでにあつたようですが、ほとんど更新が行われることなく、訪問者の数も望めなかつたようです。そこで、デザインを一新しようということになり、2002年の夏に現在のようないデザインで新HPが公開されました。その際は業者に任せましたが、より内部事情と密接で、学生にとって魅力的なコンテンツを配信するためには、学生が作成に携わつた方が望ましいとい

うことになり、その後は前任の方が現在の総合科学部HPの原型を完成されました。

HP管理を引き受けた理由としては、まず、HP作成に対する個人的な興味があげられます。その上で、広大生の一人として広大内部の情報と関わることができ、また、その情報を発信するという立場から、まさに、内部を通して外部との「リンク」を図りたいと考えました。

How? HPを作る、そのやりかた

HP管理室といっても業者ではなく、結局は学生がやっています。学生としてもすべきことがあり、HPに毎日集中はできません。そのため、今のところは、事務から依頼があれば依頼通りにやるだけで、自分で率先して企画したりすることとはまだできていないんです。前任の方が作った原型をもとに少し手を加えているくらい。引き継いで半年も経っていないせいもあり、まだまだ受け身です。

ただ、これまでのHPは、確かに事務的な内容は充実していますが、事務的すぎると学生との繋がりが薄くなるとも考えられます。だから、学生がどのような点でHPを利用していいのか興味がありますし、これからは、学生との関係が反映されるようなHPにしていきたいと考えています。例えば「Web日記」などを利用して、

学生が集まるスペース広場の模様を紹介したり、掲示板などで学生からのフィードバックをもらえたりしたら面白いと思います。その際、静止画だけでなく動画も利用することで、動きのあるページを提供していけたらいいかな。

要するに、少しでも学生に見てみたいと感じてもらえるHP作りを心がけたいと思います。掲示板では、キャンパス内のマニアックな場所や、まる得情報などを投稿してもらったりしたら面白いかもしれないですね。もちろん、ネチケットの問題などもあるので、すぐにはいきませんが、それに、管理者はたった一人なので、学生の意見を全て反映するというまでにはなかなか至らないでしょう。ただ、少なくとも、事務的なものに限らないページ作りによって、学生主体のHPにしていきたい。誰かのことを借りるなら、「学生の学生による学生のためのHP」といったところでしょうか。

Where?

HPで気をつけること

まず何より、依頼されたらできるだけ早く取り掛かることです。やはり、HPはリアルタイムが大事ですから。それから、当たり前ですが、見やすいページを作ること。Winを使っていない人もおられますし、たとえWin向けに作っていても、それ以外のOSでも問題なく見られるようにしなければいけません。そ

のため、なるべくJavaなどは使わないようにしています。このことは、ブラウザでも同じことです。といっても、あらゆるOSやブラウザに適応するようなページ作りはどうしても難しいのですが。

What? 学生に聞きたいこと

学部のシステムに関してどう思っているのか、なぜ広大の総合科学部に入学しようと思ったのかなど聞いてみたいです。というのには、僕はもともと、修士課程までは京都の大学で、博士課程に入学して初めて広大を知りました。つまり、どの学生よりも広大を知らない人間が総合科学部のHPを作っているとも言えます。だから、実は、総合科学部のことで知らないことが多いんです。ただ、裏を返せば、知っている人が見過ごしてしまうようなことに興味があったりもします。例えば、そもそも「総合科学部」って何、といった根本的なことから、誰があの広場を「スペイン広場」と呼ぶようになったのかといったことまで。スペイン広場から学生会館に架かる橋が「思案橋」という理由や、あの大きな池が「葡萄池」と呼ばれる所以なども疑問の種です。つまり、どんなに小さなことであっても、外側から見える疑問や興味というものを大切にしたいと思います。

Who? HP担当×学生

勉強しているのは言語学で、その中でも語用論と呼ばれるものに携わっています。語用論というのは、ことばの「運用」に関わる仕組みを解明することを目的とします。ただ、一口に「語用論」といっても取り扱う範囲は非常に広いんです。その中で、例えば、蒸し暑い部屋で、誰かが「この部屋は暑い」と言ったとしましょう。そうすると、おそらく、その場にいる誰かが窓を開けたり、クーラーを入れたりするでしょう。その際、話し手のことばはどのような効力を持つのか、または、聞き手はそのことばをどのようなメカニズムで解釈するのか、といったことを追求することが、この分野の研究対象の一つです。

When? HP担当者の生活

HP管理は月、木、金の午後一時〜五時までです。平行して自分の勉強をするときもあります。火、水は授業。自分も授業を受けていますが、主査である吉田先生のドイツ語の授業で補助的な仕事をさせてもらったりもしています。

講義では、ネイティブの先生のもと、日本とドイツの文化や社会を通じて、社会言語学や文化人類学の分野も学んでいます。あと、教育棟で自分の分野に関わりの深いゼミに参加させてもらったりも

しています。

食事はというと、昼ごはんは生協でおにぎり、夕ごはんは学食でよく食べます。ささみチーズフライが一番好きで、おにぎりならとろサーモン!!

(注)

OS: Operating Systemの略。コンピュータ・システムをできるだけ容易に使うことができるようにするための基本的なソフトウェア。Windows (Win) や Macintosh (Mac) など。
Java: インターネット用プログラミング言語の一つ。

(参考) 『広辞苑 第五版』 岩波書店

(担当) 17生 川口由紀 杉本千明

